

第二ふくい園芸カレッジ（仮称）・園芸LABOの丘整備事業について

1 整備目的

嶺南地域における園芸振興や新規就農者の育成・定着促進に向け、研修、観光・体験、研究の機能を有する園芸拠点を美浜町に整備する。

嶺南の気候・立地を生かした園芸品目の栽培技術・知識を習得する研修施設や、就農初期の収益を確保し円滑に就農させるためのインキュベーション圃場を備えた「第二ふくい園芸カレッジ」を新たに整備する。さらに、連携する「園芸LABOの丘」をカレッジ研修生が販売や加工などを実践する場として活用するとともに、誘客を強化し、園芸への理解促進や地域活性化を図る。

2 整備場所 園芸研究センター敷地内（三方郡美浜町久々子 35-32-1）

3 整備概要

- （1）「第二ふくい園芸カレッジ」として、嶺南の特産品（ウメ、トマト、キュウリなど）の栽培技術や経営管理手法等を習得できる研修・模擬経営施設や就農初期の経営負担を軽減するためのインキュベーション圃場を整備
- （2）「園芸LABOの丘」に、園芸カレッジ研修生が販売・加工や観光農園の管理などを実践する場としての「農業体験エリア」や、集客力を強化する「観光エリア」を整備し連携

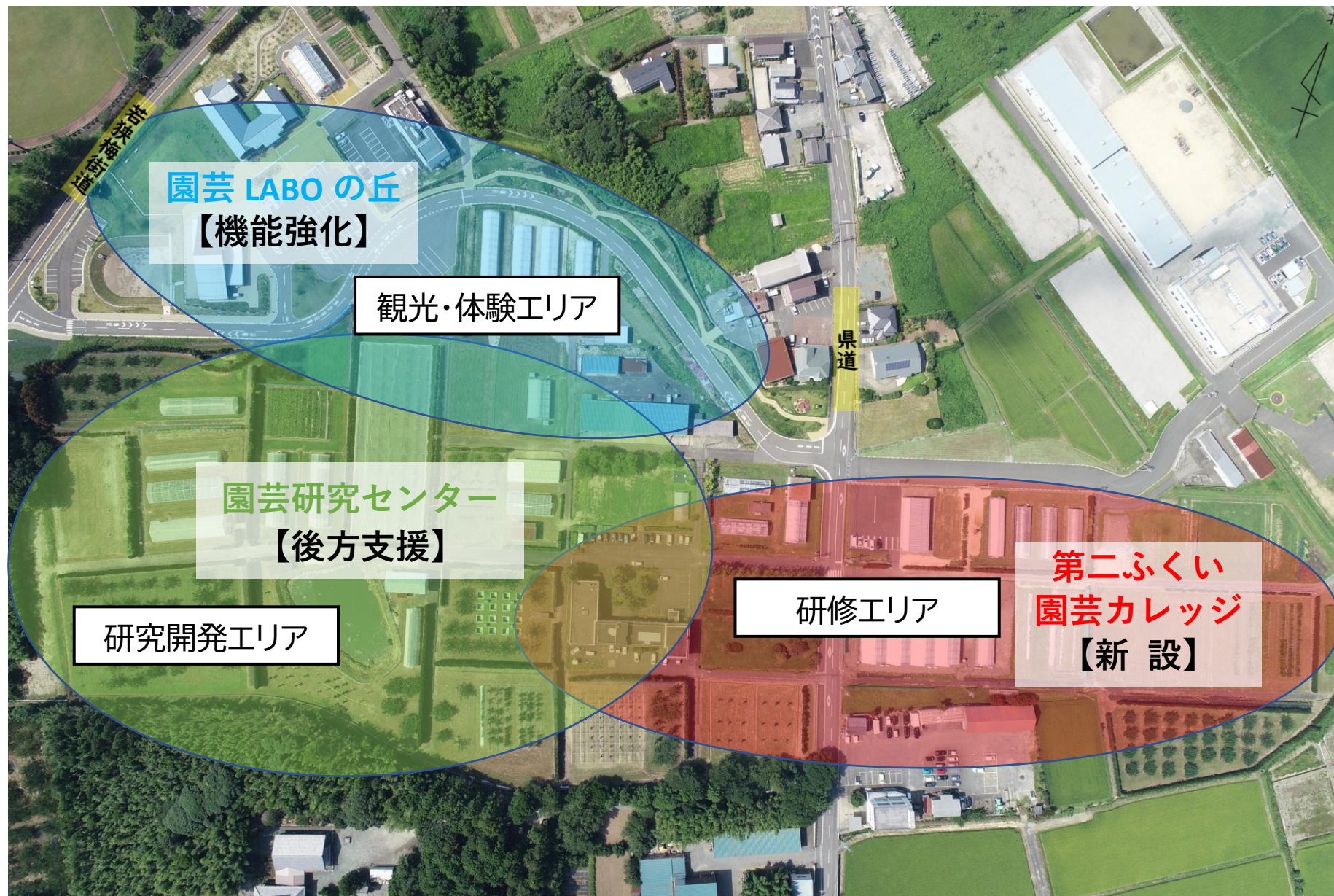
4 目 標 第二ふくい園芸カレッジ（仮称） 入校者 年間15名

5 全体事業費 約8億円（令和7年度予算額：78,541千円）（財源：原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金、一般）

6 スケジュール 令和10年1月開校予定（園芸LABOの丘は令和10年4月リニューアルオープン予定）

【参考資料】

施設配置イメージ図



嶺南地区の園芸人材育成・振興

「研修、観光・体験、研究開発」の園芸拠点づくり



【研修】
第二ふくい園芸カレッジ（新設）

- 観光農園での摘み取り体験や講義を通じた交流
- 隣接する直売所、レストランに農産物・加工品を提供

- 多収・省力化に繋がる最新技術の提供・習得
- 新品種等の試作や優先的な導入
- 農産物加工商品の開発支援

【観光・体験】
園芸LABOの丘（機能強化）

【研究開発】
園芸研究センター（後方支援）

- 新品種の開発に関する来場者意見の収集
- 園芸の知識や最新技術の紹介

